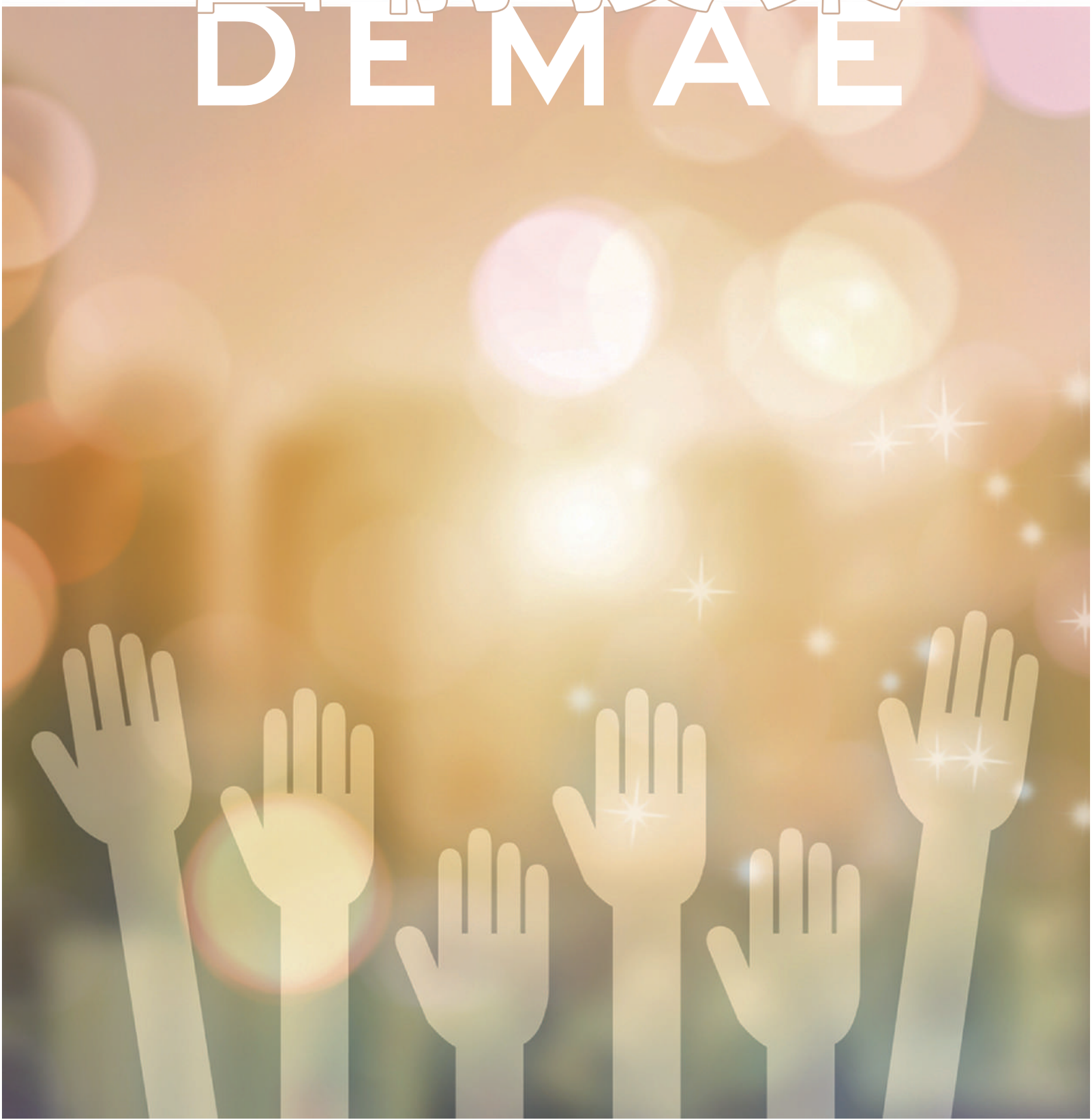
東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部
TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

令和２年度

出前授業

DEMAE



「出前授業」のご案内

東北生活文化大学ならびに東北生活文化大学短期大学部では、地域の生活向上をめざした「暮らしデザイン活動」を行っています。活動は学生・教員・その他関係者が一体となって進め、実践的に暮らしをデザインする力を高めていきます。

「これからのまちのために、希望に満ちた楽しい暮らしを、仲間と地域の皆さんと一緒に創り出したい」という思いがあり、「ワクワクぷろじぇくと」をはじめ、様々な取り組みを行っていますが、この「出前授業」もその一つです。

本学の学習内容である「服飾・ファッション」、「食・栄養・健康」、「アート」、「保育・教育」、「家庭・生活」などを中心に開講していますので、お気軽にご活用ください。

また、ニーズに合わせたオーダーメイドの「出前授業」の提供も可能です。メニューにない講座でもできるだけ皆様のご要望にお応えできるような講座をご用意したいと思っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

授業のお申込み

お申し込みは右記の「出前授業申込書」をコピーし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。なお、「出前授業申込書」は日程・授業テーマ等を調整・事前打合せさせていただくためのものです。

- ■「出前授業申込書」をお受けした後、本学担当教員からご連絡いたします。
- ■ 日程は調整させていただきますので、お気軽にご相談ください。
- ■ 本学行事・授業の都合上、やむを得ずお受けできない場合もございますのでご了承ください。
  （原則として土曜・日曜・祝日はお受けできません。）
- ■ 人数につきましては、原則として 10 名以上でお申し込みください。
- ■ 交通費等の費用は不要です。（教材費等一部ご負担いただく場合があります。）
- ■ 遠方の場合は、ご相談させていただく場合がございます。
- ■ 正式にお受けする際には、依頼文書をいただくことになります。

ホームページからのお申し込みはこちら→

お問い合わせ・お申し込み先

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部　入試課

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2　TEL：022-272-7521 ／ FAX：022-301-5602
E-mail：dnyushi@mishima.ac.jp　URL：https://www.mishima.ac.jp/tsb/

「出前授業」申込書

お手数ですが、この申込書はコピーしてご使用ください

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部　　年　月　日

「出前授業」申し込み 行

FAX：022-301-5602

<table>
<tr><td>学校（団体）名</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>代表者名</td><td colspan="2"></td><td>担当者名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="5">〒　－
（　　）　－</td></tr>
<tr><td>受講学年等</td><td colspan="2"></td><td>人数</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">希望日時</td><td>第１希望</td><td colspan="4">年　月　日（　）　時　分 ～ 時　分</td></tr>
<tr><td>第２希望</td><td colspan="4">年　月　日（　）　時　分 ～ 時　分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">希望講座</td><td>第１希望</td><td colspan="2"></td><td>担当教員</td><td></td></tr>
<tr><td>第２希望</td><td colspan="2"></td><td>担当教員</td><td></td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>ご要望等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

目　次

服飾・ファッション

01. 布の染色加工いろいろ…… 4
02. 洗濯の基礎知識：新しい取扱い絵表示…… 4
03. 東北の伝統的ファブリックデザイン…… 4
04. 誰もがオシャレに！ユニバーサルデザインのファッション… 4
05. ファッションを支える「仕事」の魅力を探る…… 4

食・栄養・健康

06.「健康」ってなあに？　健康にまつわるはなし…… 5
07. ヘルシー・食・マネジメントのコツ…… 5
08. 国民食（ラーメンとカレー）を手作りしてみよう… 5
09. 真空パック食品を手作りしてみよう…… 5
10. わが国の健康・栄養の現状と課題…… 5
11. 食品の組織構造…… 6
12. 食の情報の考え方…… 6
13. 高齢者の血圧管理～寝たきり予防のために～…… 6
14. たんぱく質のはなし…… 6
15. 伝統食品を使った食事作り…… 6
16. 世界の人々の暮らしと多様性～食文化・栄養学～… 6
17. 集団給食と栄養管理…… 7
18. よく耳にする「サルコペニア」ってどんなデザート？… 7
19. 歳を取ると上手に食べられなくなってくるのはなぜ？… 7
20. 生活習慣病予防の食事と治療の食事…… 7
21. 和食と健康―発酵食品の魅力―…… 7
22. アレルギー対応の食事（またはお菓子）作り…… 7

アート

23. 描画材料の色々…… 8
24. 触れて学ぶ彫刻…… 8
25. ちょっとアニメを作ろうよ…… 8
26. ランドマークプロジェクト…… 8
27. 幾何学的抽象絵画…… 8
28.「インフォグラフィックス」で、情報をわかりやすく伝えよう！… 9
29. エコ版画・板紙凹凸版…… 9
30. 木のスプーンを作ろう…… 9
31. 絞り染めでハンカチを染めよう…… 9
32. 下絵付けをしてみよう！…… 9

保育・教育

33.「ことば集め」「ことば遊び」を通して、日本語を知ろう…10
34. あなたも書いてみませんか？……10
35.「老いること」と「こころ」……10
36. 発見ゲーム ～“ 見る ”を楽しむ造形遊び～……10
37. 墨で描こう「絵巻物」……10
38. 見る・聞くを上手に行うためには……10
39. 江戸時代の折り紙製作～秘伝千羽鶴折形を折ってみよう！～…11
40. 誰もが楽しめる折り紙製作～よく飛ぶ紙飛行機を折ってみよう！～…11
41. チリメンモンスターを探せ！……11
42. 日常生活のマナーとキャリアアップ……11
43. 生と性……11
44. 障がい者と母性について……11
45. 心地よい環境と遊びについて……12
46. 学校に行くにはお金がかかる？……12
47. なんで勉強するの？学べることはステキな権利……12
48. 綴ってみませんか、あなたの世界……12
49. 虐待や DV を疑われる人に気づいたらどうする？…12

家庭・生活

50. あいまいさを科学する……13
51. 身のまわりは化学でいっぱい！……13
52. 家政学について……13

その他

53. 楽しく学べる少林寺拳法健康プログラム……13
54. コンピュータは計算する機械……13
55. 漱石とオースティン……14
56. ピアノレッスン・音楽ワークショップ……14

対　象　(小) = 小学生　(中) = 中学生　(高) = 高校生　(般) = 一　般

服飾・ファッション

01. 布の染色加工いろいろ　中 高

洋服には、様々な染色加工方法が用いられています。簡単な方法を体験できるので、衣生活への興味や理解が深まります。藍染めやデニムの加工など、実生活にも役立つ内容です。

【必要機材】授業内容・体験実習に必要な物はご相談の上で

担当：井上美紀【家政学科教授／専門：被服整理、染色加工、被服材料】

02. 洗濯の基礎知識：新しい取扱い絵表示　中 高 般

衣類を傷めずにしっかり洗う、このために欠かせない洗濯の取扱い絵表示（マーク）があります。平成 28 年 12 月に JIS が大幅に改定されて新しいマークになりました。
マークが変わるとどうなるの？等、絵表示について解説します。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：井上美紀【家政学科教授／専門：被服整理、染色加工、被服材料】

03. 東北の伝統的ファブリックデザイン　中 高

東北地方の服飾文化の「染」にフォーカスする授業。特に、仙台地方で行われていた型染めの歴史・技法・文様について学びます。現代のファッションやインテリアに取り入れても素敵な文様を多数ご覧いただき、東北ならではの服飾文化について理解を深めます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：川又勝子【家政学科准教授／専門：染色学、家庭科教育（被服教材研究）】

04. 誰もがオシャレに！ユニバーサルデザインのファッション　中 高 般

最近、お年寄りや身体の不自由な人たちをはじめ、誰にでも着やすく、素敵なユニバーサルデザインのファッションが注目されています。これらの商品を事例に取り上げ、「障がいの有無にかかわらず、すべてのヒトを前向きで、明るい気持ちにさせてくれる」という視点から、普段は気づかない衣服の機能やデザインなどについて考えていきます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン、スピーカー

担当：水谷　浩【家政学科講師／専門：消費生活（消費者商品学）】

05. ファッションを支える「仕事」の魅力を探る　高

世界中の人々が高い興味を示している「ファッション」。これは多くの人の力によって支えられています。この授業では、ファッションを支える「仕事」に注目し、ファッションビジネスの最前線「販売職」、その生命線ともいわれる「マーチャンダイザー」など、支える側の視点からファッションについて学びます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：服飾文化専攻教員

食・栄養・健康

06.「健康」ってなあに？　健康にまつわるはなし

小 中 高 般

私たちは、インターネットや雑誌の記事で「食べても太らない」や「ガンが治る」などといった食事や運動をはじめとしたさまざまな健康法に関する情報を目にすることがあります。はたして、これらのことは「本当」なのでしょうか？この授業では、健康情報についてのウソ・ホントを取り上げながら、「健康とは何か」について一緒に考えていきます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：伊藤常久【家政学科教授／専門：教育保健、公衆衛生学】

07. ヘルシー・食・マネジメントのコツ

般

健康的な食生活の基本をセルフチェックで確認しつつ、毎日を、よりいきいきヘルシーに過ごすためのちょっとしたコツ（ex.“健康な食事”って？、適塩生活のポイント、健康・栄養情報を活用するには？、食事と体内時計の深〜い関係などなど）をお伝えします。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：小野真実【家政学科教授／専門：健康・栄養教育、ヘルスプロモーション】

08. 国民食（ラーメンとカレー）を手作りしてみよう

小 中 高 般

ラーメンやカレーは国民食と言われますが、家庭では即席ラーメンやカレールーを使った調理が実際には多いのではないでしょうか。この講座では、①手作りラーメンスープと具を作成したのちにラーメンの実食、②インスタント（フライ）麺を作成したのちにラーメンの実食、③自家製カレールーを作成したのちにカレーライスの実食のどれか１つを選び、調理実習を行います。加工食品を自分で作り、手作りの良さを再確認する時間とします。
【必要機材】調理室（材料費や調理に必要なものは要相談）

担当：川俣幸一【家政学科教授／専門：応用栄養学】

09. 真空パック食品を手作りしてみよう

小 中 高 般

加工食品は買うものだと思っていませんか？　この講座では、①みかんのシロップ漬け、②果物ジャム、③ご飯のおとも（海苔の佃煮や食べるラー油）のどれか１つを選び、真空パック食品に至るまで考慮された調理実習を行います。市販されている加工食品を自分で作り、美味しさや保存性（殺菌）について深く考える時間とします。
【必要機材】調理室（材料費や調理に必要なものは要相談）

担当：川俣幸一【家政学科教授／専門：応用栄養学】

10. わが国の健康・栄養の現状と課題

小 中 高 般

「朝食は食べない」、「こども食堂」など、現在のわが国の食生活や健康に関する情報が、テレビやインターネットなどで発信されています。授業では、現在の日本の食生活から、健康や栄養に関する情報や問題点を紹介します。問題点については“どうすればよいか？”を皆さんと考えたいと思います。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：栗山孝雄【家政学科教授／専門：公衆栄養学、公衆衛生学】

11. 食品の組織構造 高 般

食べ物の組織構造（デンプン、タンパク質、他）と特徴を顕微鏡画像から説明します。
また、顕微鏡の設備によりプレパラートの観察を行い、さらに、美味しさを見ることは出来るかについて考えます。

【必要機材】パソコン、プロジェクター、スクリーン、（顕微鏡）

担当：佐藤靖子【家政学科教授／専門：食品組織学】

12. 食の情報の考え方 中 高 般

テレビやインターネットでは､様々な｢健康によさそう｣な食品の情報や魅力的な広告があふれています。こういったものを見て､｢天然～、植物性～、無添加～、低カロリー～とか体によさそう！｣とか「これを食べるだけでダイエットできるんだ！」とか、思ったこともあるでしょう。おびただしい食の情報に振り回されず、健康な食生活に本当に必要なものを見極めるための知識をわかりやすく説明します。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：鈴木裕行【家政学科教授／専門：栄養学・食品学・生化学】

13. 高齢者の血圧管理　～寝たきり予防のために～ 般

超高齢化社会を迎え、寝たきりの高齢者を増やさないためには、脳卒中の予防対策が重要といわれています。脳卒中予防のための血圧管理を中心にお話します。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：曽根正彦【家政学科教授／専門：内科、リハビリテーション】

14. たんぱく質のはなし 高 般

私たちの体を構成する主成分であるたんぱく質は、様々な興味深い性質や機能を持っています。本授業では、生体内で活躍するたんぱく質の機能に解説するとともに、食品に含まれるたんぱく質の健康機能についてもいくつか紹介します。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：永沼孝子【生活文化学科教授／専門：栄養学・生化学・タンパク質化学】

15. 伝統食品を使った食事作り 高 般

「うち豆」は、今はあまり見かけなくなっていますが、以前は晩秋に収穫した大豆から作って保存食品として利用されてきました。浸漬する必要がなく簡単に調理できますし、栄養的にも優れています。「うち豆」のお料理やデザート作りを体験してみましょう。
【必要機材】調理室

担当：宮地洋子【生活文化学科教授／専門：調理学、食文化】

16. 世界の人々の暮らしと多様性～食文化・栄養学～ 小 中 高 般

国際社会では、異なる文化や習慣を持った人々とともに生きていくことが求められています。この講義では、食文化と栄養学の視点から世界の人々の暮らし、多様性、社会状況について学びます。2015 年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs)」の実現にむけて、私たち一人ひとりができることを一緒に考えていきましょう。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：木下ゆり【生活文化学科准教授／専門：栄養学】

17. 集団給食と栄養管理 高 般

大規模から小規模まで集団給食施設では栄養士が活躍しています。また、その施設の特徴によって栄養士の役割も変わってきます。この講座では集団給食における栄養管理のあり方と栄養士の関わりについて説明します。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：益田裕司【生活文化学科准教授／専門：給食管理学】

18. よく耳にする「サルコペニア」ってどんなデザート？ 般

残念ですが、『サルコペニア』は流行のデザートではありません。『サルコペニア』とは、加齢や病気などの影響により全身の筋肉量と筋力が低下し、身体能力が低下した状態を指します。なぜなっちゃうの？どうやってみつけるの？予防できるの？などの疑問と上手な食事のとり方について説明します。
【必要機材】パソコン、プロジェクター、スクリーン

担当：髙橋　文【家政学科講師／専門：臨床栄養学】

19. 歳を取ると上手に食べられなくなってくるのはなぜ？ 般

なぜ歳を取ると、上手に食べたり飲んだりすることができなくなってくるのでしょうか。最近、「ごはんを食べると詰まる感じがするなぁ」「お茶を飲むとむせやすくなったわぁ」など、悩みを抱えている寅さんと梅さんご夫婦を例に、食べるしくみや食べにくい食材、調理の工夫について説明します。
【必要機材】パソコン、プロジェクター、スクリーン

担当：髙橋　文【家政学科講師／専門：臨床栄養学】

20. 生活習慣病予防の食事と治療の食事 般

生活習慣病にかかりたくないと思っている人、健診で高血圧・高脂血症・高血糖を指摘された方を対象に「メタボ対策」「脂の少ない食事」「野菜の摂取」「飲み物の選び方」など毎日の食生活に役立つ情報を提供します。また健診データごとの食事との関係も解りやすく紹介します。今まで何をどうすれば…と漠然と考えていた方、絶対に役に立ちます。10 年以上生活習慣病健診の食事指導にあたってきた管理栄養士が教える授業です。ほんの少しでも悪い習慣を変えれば、この次の健診ではあなたは健康人です。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：半澤真喜子【家政学科講師／専門：給食経営管理学、臨床栄養学】

21. 和食と健康―発酵食品の魅力― 中 高 般

和食（日本の伝統食）は栄養バランスに優れた健康食として世界中から注目されています。和食の基本は、ごはん、味噌汁、香の物（漬物）を中心に献立を考えることです。さまざまな種類のお米、味噌、醤油、塩を味わい、味わいの違いに気づき、日本の食材や発酵食品の魅力を発見する講座です。講座の最後には手軽にお抹茶を立てて季節の和菓子でなごみましょう。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：深澤律子【家政学科講師／専門：家政学系食物学】

22. アレルギー対応の食事（またはお菓子）作り 中 高 般

食物アレルギーについて理解を深め、卵・牛乳・小麦などのアレルギーがあっても皆でおいしく食べられるお料理（またはお菓子）を作ってみましょう。なお、調理実習の内容については事前相談をお願いします。

【必要機材】調理室

担当：深澤律子【家政学科講師／専門：家政学系食物学】

アート

23. 描画材料の色々

高 般

日本画やテンペラなどの実際の材料・作品を提示しながら、古今東西様々な画材を説明します。普段何気なく目にしたり使用したりしている絵画材料のルーツやそこに秘められた歴史や価値を理解することが出来ます。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：北折　整【美術表現学科教授／専門：絵画】

24. 触れて学ぶ彫刻

小 中 高 般

彫刻の公開制作、展覧会企画活動などを 30 年間にわたって行い、外国で彫刻シンポジウム等に参加した経験を持つ、彫刻家でもある教授が教える授業。美術に興味がある、美術に関することを学んでみたいという小学生・中学生・高校生ならびに一般の方まで彫刻、立体造形分野で様々な可能性があることを教えます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン、材料費

担当：佐藤淳一【美術表現学科教授／専門：彫刻】

25. ちょっとアニメを作ろうよ

中 高 般

撮影した画像や紙などに描いた絵をパソコンに取り込んで、ちょっとしたアニメを作りましょう。
ひとまず完成したらみんなで鑑賞、もしも時間に余裕があれば、メモ帳サイズのアニメ小冊子も作りましょう。
【必要機材】モニターかプロジェクター、デジカメ、三脚、プリンター、場合によってはスキャナー。詳細はご相談ください。
【受講人数】最大２０名まで

担当：鈴木　専【美術表現学科教授／専門：アニメーション】

26. ランドマークプロジェクト

高

本学の学生が取り組んだ一過性のプロジェクトを高校生の皆さんにも体験してもらいます。主に美術に関する様々な既成概念から自分を開放したいと思っている方を想定した授業です。特定の場を選び、その周辺にある素材のみを用い自身の存在を示すランドマークを制作して頂きます。最後に、それら存在の目印を参加者全員で鑑賞します。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン　　※荒天時、延期／中止となることがあります

担当：瀬戸典彦【美術表現学科教授／専門：米国のアート】

27. 幾何学的抽象絵画　（○、□、△を使った抽象画を描きます）

高 般

「私たちにはわからない」と敬遠されがちな抽象画への第一歩となる授業です。抽象絵画の説明と実技を行います。純粋に色や形について体験してみましょう。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン、実習に必要な材料等はご相談の上で

担当：三上秀夫【美術表現学科教授／専門：抽象絵画（デザイン・染色）】

28.「インフォグラフィックス」で、情報をわかりやすく伝えよう！ 中 高

インフォグラフィックスとは、複雑な情報やデータを視覚的にわかりやすく表現したものです。この授業では、インフォグラフィックスの事例を紹介しながら、情報を視覚化する時に必要な考え方や表現についてお話しします。実際に身近な情報を視覚化し、情報をわかりやすく伝達するためにはどうしたらよいか考えてみましょう。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン、筆記用具、スケッチブック

担当：鶴巻史子【美術表現学科准教授／専門：情報デザイン】

29. エコ版画・板紙凹凸版 中 高

板紙凹凸版とは、版材がコート白ボールと呼ばれる紙で主にパッケージなどに使われている紙です。表面がツルツルしている版材の上に紙を貼って凸面を作ったり表層をはがし針などで引っ掻いて凹面をつくり、そこにインクを詰めて刷りとる版画です。方法は身近な材料で凹凸版をつくるのでエコで手軽です。インクを詰めてプレス機をかけて紙をはがす時のワクワク感を経験してください。
【必要機材】プレス機

担当：大堀恵子【美術表現学科講師／専門：版画】

30. 木のスプーンを作ろう 高 般

木のスプーンをデザインし、小刀と彫刻刀を使って作ってみましょう。「食べる」という動作とスプーンの形の関係について考え、作る過程では木の性質について学びます。材料には軟らかく削りやすい木材を使用します。所要時間は 4 時間。
【必要機材】小刀、彫刻刀、作業机、その他必要な道具等はご相談の上で。別途材料費がかかります。
【受講人数】最大 12 名

担当：落合里麻【美術表現学科講師／専門：木工】

31. 絞り染めでハンカチを染めよう 中 高

身近にある素材を利用して、絞り染めを体験してみましょう。好きな色の染料を選び、浸染で染め上げます。
（実習時間 4 ～ 5 時間程度）
【必要機材】ガスコンロ 2 台以上、広めの排水設備、給湯器、エプロン、ゴム手袋、実習に必要な道具等はご相談の上で
【受講人数】最大 8 名まで

担当：佐々木輝子【美術表現学科講師／専門：染織】

32. 下絵付けをしてみよう！ 中 高

陶芸（やきもの）の作業工程の中に＜下絵付け＞という描画方法があります。その＜下絵付け＞による「ろくろ線」や「紋様」を素焼きの器に描いてみましょう。作品は焼成後（約１～２ヶ月後）、お渡しいたします。

【必要機材】タオル（雑巾）、バケツ、実習に必要な道具等はご相談の上で

担当：立花布美子【美術表現学科講師／専門：陶芸】

33.「ことば集め」「ことば遊び」を通して、日本語を知ろう　中 高 般

さまざまな「ことば集め」や、「ことば遊び」を楽しみながら、自分の語彙力を確かめてみましょう。そこから見えてくる日本語の特徴や魅力についてお話しします。

【必要機材】特になし

担当：佐藤深雪【生活文化学科教授／専門：国語表現】

34. あなたも書いてみませんか？　小 中 高 般

素敵なショートエッセイが、楽しく簡単に書けます。２００字の原稿用紙に、スケッチする気分で気軽に書いてみませんか？良い文章とは、あなたにしか書けないことを、誰にでもわかるように書かれた文章です。思考を整理するノウハウ、伝える表現技術が自然に身に付きます。
【必要機材】スクリーン・プロジェクター

担当：佐藤深雪【生活文化学科教授／専門：国語表現】

35.「老いること」と「こころ」　般

人は誰でも悩みます。「悩むことを大切にすること」＝それがカウンセリングの仕事です。
乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期など人はそれぞれの発達段階で悩みながらこころは変容していきます。
今回は「老いること」をめぐるこころの変容について考えます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：宮前　理【家政学科教授／専門：臨床心理学、カウンセリング】

36. 発見ゲーム ～“見る”を楽しむ造形遊び～　小 中 高 般

目に入っていても、気が付かないことはたくさんあります。身近な場所をもう一度「見て」みませんか？「気になるもの」を見つけて、みんなで「何だこりゃマップ」を作ってみましょう。学校などの施設を探検して歩くことが可能なことが条件となります。
【必要機材】特にありません

担当：横山美喜子【生活文化学科教授／専門：造形教育】

37. 墨で描こう「絵巻物」　小 中 高 般

日本古来よりある「絵巻物」という表現様式は、「時間」を表現できるという点で現代のアニメーションにも通じると言われています。丁寧に硯で墨を擦り、その濃淡や表現方法を工夫しながら、６メートルの巻紙に「時間」を描いていきます。
【準備物】和紙（障子紙）
【受講人数】最大３０名まで

担当：横山美喜子【生活文化学科教授／専門：造形教育】

38. 見る・聞くを上手に行うためには（教育心理学）　高

見ているようで実は見ていない、聞いているようで実は聞いていないという失敗をしていませんか？見ること、聞くことを上手に行うための簡単なポイントをお伝えします。世の中で見る､聞くチャンスは１回だけしかないかもしれません。一緒に考えてみましょう。

【必要機材】特になし

担当：植松公威【家政学科准教授／専門：教授学習心理学】

39. 江戸時代の折り紙製作～秘伝千羽鶴折形を折ってみよう！～ 高 般

江戸時代に世界で初めて折り紙の本が誕生しました。それが『秘伝千羽鶴折形』です。
2 羽から 97 羽（49 種）のつなぎ折鶴（連鶴）が紹介されています。これは何度も製作を積み重ねていく中で、その面白さを感じてくるものです。一度体験してみませんか？
【必要機材】プロジェクター、スクリーン、和紙、はさみ、カッター、ものさし（30 ㎝）、カッターマット

担当：岡崎善治【生活文化学科准教授／専門：教育学・保育学】

40. 誰もが楽しめる折り紙製作～よく飛ぶ紙飛行機を折ってみよう！～ 小 中 高 般

紙飛行機は誰もが一度は作ったり飛ばしたりした経験があると思います。しかし、時としてうまく飛ばないこともあるのではないでしょうか。この講座では誰が作ってもよく飛ぶ紙飛行機を理論立てて紹介したいと思います。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン、長方形の用紙（A4・B5 サイズ）、両面テープ、はさみ、カッター、ものさし（10～15cm）、カッターマット

担当：岡崎善治【生活文化学科准教授／専門：教育学・保育学】

41. チリメンモンスターを探せ！ 小 中 高 般

チリメンモンスター（略称：チリモン）とは、ちりめんじゃこの中に混じっている魚、タコ、イカ、エビ、カニの子どもなどの小さな生き物たちのことです。これらの魅力的なモンスターたちを探し出すことを「チリモン探し」と呼んでいます。チリモン探しを通して、海の生き物、食べ物、環境などについて楽しく学びます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン、その他必要なものはご相談の上で

担当：黒川優子【生活文化学科准教授／専門：食品衛生学、環境科学、魚類生理学】

42. 日常生活のマナーとキャリアアップ 中 高

マナーは、人と人とのコミュニケーションの大切な役割を果たすものです。そこで、日常生活における基本的なマナーについて、実演を交えて説明し、将来、社会人としてのキャリアアップに結び付けます。

【必要機材】特になし

担当：土屋葉子【生活文化学科准教授／専門：体育学】

43. 生と性 高

近年、性行動の低年齢化が叫ばれています。氾濫する様々な情報の中、正しい知識を身に付け、命の大切さ、そして「自分の身は自分で守る」事の重要性について、生徒の皆さんに興味深く説明します。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：土屋葉子【生活文化学科准教授／専門：体育学】

44. 障がい者と母性について 高 般

障がい者の「母性」は、結婚・妊娠・出産をも含む障がい者のライフサイクルを考える上で避けては通れない問題です。そこで、本授業では障がい者が歴史的にどのように処遇されてきたかについていろいろな史実を交えてお話しします。その上で、今日ある「障がい者問題」の根本的な問題について一緒に考えてみましょう。
【必要機材】特になし

担当：大瀬戸美紀【生活文化学科講師／専門：社会福祉・障がい児教育】

45. 心地よい環境と遊びについて

高 般

乳幼児が、身近な大人との深い信頼関係に基づく関わりや安定した情緒の下で様々な人と接しながら、自分に自信をもって行動できるようになるための、保育環境構成や遊びについてお話します。「手遊び」・「絵本の読み聞かせ」・「ジャンケン遊び」などのワークショップで一緒に心地よさを体験しましょう。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：高橋恵美【生活文化学科講師／専門：保育学】

46. 学校に行くにはお金がかかる？

中 高 般

学校に通おうとすると、はっきり言って、とてもお金がかかります。就職や将来の夢のため、卒業したい、卒業させたい。子どもにとっても親にとっても、教育費の負担は決して少なくありません。そもそも教育は、お金がなければ享受できないのでしょうか。教育の歴史を紐解きながら、教育を受ける権利について考えます。
【必要機材】プロジェクター

担当：宮澤孝子【美術表現学科講師／専門：教育財政、教育制度、教育法】

47. なんで勉強するの？　学べることはステキな権利

中 高 般

わたしたちはなんで、学校に通うのでしょうか。そういうものだから？「義務」だから？そんな消極的なことだけにとどまりません。学校に通うこと、もっと広く学ぶことの意味について、これまでの歴史や制度、様々な学びの例などを通じて考えます。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン（応相談です）

担当：山沢智樹【生活文化学科講師／専門：教育学、教育行政学、地域教育運動】

48. 綴ってみませんか、あなたの世界

小 中 高 般

作文を書くのが苦手と感じる方は少なくないでしょう。もっと肩の力を抜いて自由な作文を書いたり、他人の作文を読んだり、作文を通じてみんなとつながっていくところから「書く」ことの楽しさを実感していく講義とワークショップです。

【必要機材】とくにありません（内容とあわせて相談のうえ）

担当：山沢智樹【生活文化学科講師／専門：教育学、教育行政学、地域教育運動】

49. 虐待や DV を疑われる人に気づいたらどうする？

中 高 般

新型コロナウイルス感染拡大予防に伴い、家庭で過ごさなければならない状況が続きました。家庭が安全基地ではない人にとっては、どんな時間だったでしょう？虐待やＤＶが表面化している時、あなたは気づけるでしょうか？気づいた時に、あなたならどうしますか？法律や制度を交えながら、一緒に考えていきましょう。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：米川純子【生活文化学科講師／専門：児童発達学・学校心理学】

家庭・生活

50. あいまいさを科学する

高 般

私たちの生活には予想できない現象があふれています。普段見過ごしがちな、あいまいな現象も数学の対象になることがあります。ここでは、あいまいさを測る（定量化する）ことと、それが情報科学などの分野でどのように応用されるのかを考察し、数学的な考え方が役に立つ一例を示します。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：池田展敏【生活文化学科教授／専門：統計物理学、確率過程論】

51. 身のまわりは化学でいっぱい！

高

デモ実験をとおして生徒に身のまわりの現象を化学的視点から理解してもらいます。
・吸水性高分子 → 紙オムツ　　・高分子合成 → ナイロン
・引火点 → 灯油はもえる？　　・表面張力 → 水に浮かんだマッチ棒の不思議　etc
【必要機材】特になし

担当：菅野修一【家政学科教授／専門：高分子合成】

52. 家政学について

高

家政学は家庭生活を中心とした人間生活を対象としている学問なので幅広い分野です。そこでこの授業では家庭とは何か？普段何気なく生活しているため見過ごしがちになっている家庭・家族についてその歴史などと比較しながら楽しく学んでいきます。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：八巻美智子【家政学科講師／専門：家政学関係、食品学、栄養学】

53. 楽しく学べる少林寺拳法健康プログラム

小 中 高 般

少林寺拳法で国内外をまわり指導し、本学でも「武道」の授業として指導している宮城県少林寺拳法連盟理事長・少林寺拳法連盟全国指導員で少林寺拳法七段の教授が、基本的な護身の技術と心身を調節する健康プログラムを楽しく指導します。
初心者でも、心も体も活力に溢れて元気になります。
【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：佐藤淳一【美術表現学科教授／専門：彫刻】

54. コンピュータは計算する機械

中 高 般

コンピュータは計算する機械です。ただ、電卓とは違って、プログラムで自動的に計算します。ここでは特別なプログラム開発環境を準備することなしに、スクラッチなどを使って、手軽にプログラミングを体験してみます。

【必要機材】パソコン

担当：松尾　広【生活文化学科教授／専門：情報工学】

55. 漱石とオースティン

高 般

夏目漱石は第一回国費留学生として英国留学して東大の英文学講師の職に就き、後に作家活動に専念していった。「英文学者漱石」の側面、特に彼が「則天去私」の小説と高く評価したオースティンの影響を考察しながら、「作家 漱石」の創作活動の模索についてお話しします。

【必要機材】プロジェクター、スクリーン

担当：佐藤　恵【生活文化学科准教授／専門：英文学】

56. ピアノレッスン・音楽ワークショップ

小 中 高 般

ご依頼に合わせた、音楽活動や表現技術向上のためのワークショップです。子どもから大人、一般の方から音楽の指導に携わっている方まで、地域の皆さんの音楽活動を幅広くサポートいたします。対象の方々に合わせた、音楽やピアノに関わるワークショップを提案します。読譜など音楽の知識に関する学習、バイエルやブルクミュラー程度の演奏力の習得、ピアノの弾き歌いや発声など、日々の音楽活動をより楽しむための講座です。また、音楽教育に関わる講演も行っています。

【必要機材】ピアノ（電子ピアノ）、プロジェクター、スクリーン　※受講人数は 10 名以下でも可。応相談。

担当：佐藤和貴【生活文化学科講師／専門：音楽教育、ピアノ教育】

東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部
TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

入試課　〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

TEL. 022-272-7521　FAX. 022-301-5602

E-mail. dnyushi@mishima.ac.jp

URL. https://www.mishima.ac.jp/tsb/